

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	国語Ⅰ 国語Ⅱ
教科書	「精選 現代文B」(大修館書店)
補助教材等	「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍) 「カラー版新国語便覧」(第一学習社)
学習上の留意点	
<p>教科書とノートをお忘れずに持って来なければならない。そうしなければ、教科書本文から答えを探す問題や前回ノートに書いたことを答える問題ができず、口頭試問点が減点になる。</p> <p>「小テスト」は、漢字テストが中心である。</p> <p>「その他」は「復習カードの提出」である。授業のポイントを3行程度の短い説明文にすることで、要点をまとめる力、短文を書く力を身につけてもらいたい。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>授業では、教科書を読む、説明を聞く、ノートをとる、問題を考える、指名されて答える、をほぼ同時に行う。同時に行うことで、脳を活性化させていこう。</p>	

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 評論(1)①	国語の授業の進め方、ノートのとり方などについて理解できる。内田樹「『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ」を読む。	(復習) 復習カードを書く。
2	評論(1)②	内田樹「『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ」をもとに評論文の読解の仕方を理解する。 パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる ・筆者の意見を要約できる	(復習) 復習カードを書く。
3	評論(2)①		(復習) 復習カードを書く。
4	評論(2)②		(復習) 復習カードを書く。
5	評論(2)③		(復習) 復習カードを書く。
6	短歌①		短歌の読解の仕方を理解し、鑑賞文を書くことができる。 ・日本語のリズムを理解し、そのリズムで音読できる ・文法事項を理解し、短歌を正確に鑑賞できる ・鑑賞文を指定の様式で書くことができる
7	短歌②	前期中間試験	(復習) 復習カードを書く。
8	短歌③		(復習) 復習カードを書く。短歌の鑑賞文を書く。
9			
10	答案返却・解説 評論(3)①	試験解説により、問題の解き方の理解を深めることができる。野村雅一「自己演技と表情」を読む。	(復習) 復習カードを書く。
11	評論(3)②	野村雅一「自己演技と表情」をもとに、評論文の読解の仕方を確認する。	(復習) 復習カードを書く。
12	評論(3)③	パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる ・筆者の意見を要約できる	(復習) 復習カードを書く。
13	評論(3)④		(復習) 復習カードを書く。
14	評論(3)⑤		(復習) 復習カードを書く。
15	答案返却・解説 表現(1)		試験解説により、問題の解き方の理解を深めることができる。 読書感想文の書き方を理解できる。

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	評論(4)①	野矢茂樹「猫は後悔するか」をもとに評論文の読み方を高める。	(復習) 復習カードを書く。
17	評論(4)②	パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる	(復習) 復習カードを書く。
18	評論(4)③	・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる	(復習) 復習カードを書く。
19	評論(4)④	・筆者の意見を要約できる	(復習) 復習カードを書く。
20	評論(4)⑤		(復習) 復習カードを書く。
21	評論(4)⑥		(復習) 復習カードを書く。
22	表現(2)①	インタビューシートとスピーチメモの作り方を理解できる。 クラスメイトの前でスピーチできる。	(復習・予習) スピーチメモを完成させ、スピーチの練習をする。
23	後期中間試験		
24	答案返却・解説 表現(2)②	試験解説により、問題の解き方の理解を深めることができる。 スピーチメモを利用して、クラスメイトの前でスピーチできる。	
25	評論(5)①	竹内啓「地球システムの中の人間」をもとに評論文の読み方を深めることができる。	(復習) 復習カードを書く。
26	評論(5)②	パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる	(復習) 復習カードを書く。
27	評論(5)③	・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる	(復習) 復習カードを書く。
28	評論(5)④	・筆者の意見を要約できる	(復習) 復習カードを書く。
29	評論(5)⑤		(復習) 復習カードを書く。
	学年末試験		
30	答案返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、問題の解き方の理解を深めることができる。	
総授業時間数			60時間